科　目　名	ソーシャルワーク演習Ⅱ	授業コード	121677A101	単位数	1単位
担当者(所属)	清水　径子（福・ス）、兒﨑　友美（福・ス）、川﨑　順子（福・ス）	時　間　数	30	AL科目	○
配当学科（学年）	社会福祉学部　スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科（２年） 臨床心理学部　臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2026年度後期	授業形態	演習		
授業の概要・一般目標・対応するﾎﾟﾘｼｰNo.	ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められるソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得する。スポDP（1）(3)、心理DP（1）(3)、臨床DP(2)(3)。 専門援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅱでは、具体的な相談援助場面及び相談援助過程を想定した実技指導（ロールプレイ）を中心としする演習形態により行う。スポDP(1)、心理DP(2)(5)、臨床DP(2)(4)。 ＊木城町との連携推進事業に伴う実践も行う。スポDP(1)(2)(4)、心理DP(1)(2)(3)、臨床DP(1)(2)(3)(4)。 また、ソーシャルワーク実習指導Ⅰと連動させながら、実習準備に向けて必要な知識・技術を習得する。				
学修目標	１）ソーシャルワークに係る基本姿勢・基本原則について説明できる。 ２）基本的なソーシャルワークの展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 ３）総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助について説明でき、体験的に理解する。 ４）ソーシャルワークの対象領域を理解し、ソーシャルワーク実習における課題を明確にして、実習に臨む準備ができる。				
実務経験のある教員による教育	科目担当（清水・兒﨑・川﨑）は、いずれも相談援助の実践現場5年以上の経験に基づき、相談援助の過程を理解し、実践力を修得することを目的として授業を行う。				
評価及びフィードバックの方法	授業中における演習実施中の態度50%（出席レポート、グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢)、レポート試験（ソーシャルワークの視点で記述されているか等）を50%とし、統合的に評価する。				
準備学習・履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。				
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。				

授　業　計　画

回数	学修目標No.	授業内容	授業方法	担　当
1	1)4)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する。	演習	全員
2	1)2)3)4)	ソーシャルワークの理解 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する（先輩との面談・SGD）	演習	全員
3	1)2)3)4)	展開プロセスの理解① ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習19項目と関連づけながら理解する。	演習	全員
4	1)2)3)4)	展開プロセスの理解② ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習19項目と関連づけながら理解する。	演習	全員
5	1)2)	フィールド調査による課題分析① 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う （ニーズ把握からアセスメント手法を学ぶ）	演習	全員
6	1)2)	フィールド調査による課題分析② 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う。 （アセスメントの結果を元に、課題整理っを行い、プランニング段階に進める）	演習	全員
7	3)	フィールド調査によるプランニング① 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 （プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する） 総合的かつ包括的な視点をもったプランニング手法を学ぶ。	演習	全員
8	3)	フィールド調査によるプランニング② 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 （プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する）	演習	全員
9	3)	プレゼンテーション準備① プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。	演習	全員
10	3)	プレゼンテーション準備② プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。	演習	全員
11	3)	プレゼンテーションの実施と評価 プレゼンテーションを実施し、評価を得る 地域住民に対する提案、アウトリーチの重要性を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
12	3)	地域を基盤とした演習 地域福祉推進に係る住民参加と組織化活動の必要性を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
13	3)	実践の振り返り① ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 社会資源の把握・活用の方法を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
14	3)	実践の振り返り② ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 実践の記録を行い、記録の活用の方法を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
15	1)2)3)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。	演習	全員

教科書 （著者名） 出版社名 【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書 （著者名） 出版社名 【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。